

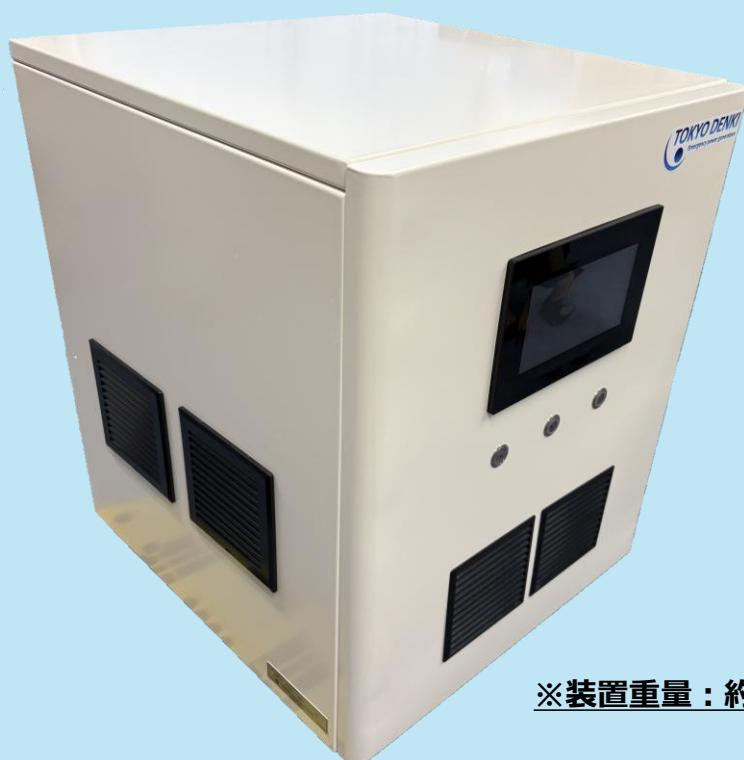
必要な場所で！必要な量を！安全に！

水素化系材料による水素発生装置

屋内型水素発生装置（リアクタ）試作機の展示

安全に備蓄できる固体水素を燃料とし、加水分解にて安定的に水素を取り出すことが可能です。

実証装置外観



※装置重量：約100kg(内容物含む)

《装置特徴》

1. 動作環境：5℃～40℃未満（JIS規格に基づく）
2. 最大反応温度：約100℃未満(カートリッジ内)
3. 最大送出圧力：100kPa以下（但し供給側による）
4. カートリッジ1本あたり水素1m³/hを発生
1本あたり10kg未満(内容物含む)×4本を標準搭載

5. 装置寸法：W800×D800×H1000(mm)

※キャスターなどを取付ることにより装置本体の移動可能

< 2025年/下期より実用化試験開始 >